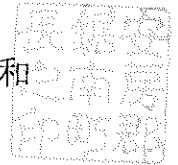




鋸地振（土）第465号
平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

千葉県安房郡鋸南町長 白石治和



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（提出）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のあったこのことにつきまして、別紙様式のとおり提出します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

千葉県鋸南町

- 1 地震・台風・豪雨水害等の自然災害から、地域の安全・安心を確保し、社会経済活動の基盤となる道路整備の取り組みを一層強化すること。
- 2 歩行者の安全な通行を確保するとともに、地域住民の生活環境向上を推進するため、歩道末整備区間の解消をはかる整備を早急に実現すること。
- 3 富津市・鋸南町との市町境を通る一般国道127号のトンネル（明鐘、潮噴、元名第一、元名第二）の連続降雨量200mm以上に
よる通行規制を改善するために、バイパストンネルを建設し、地域の安心・安全を確保するとともに、産業・経済・観光の基
盤となる道路整備を早急を実施すること。
- 4 アクアライン、富津館山道路等の有料道路料金体系の引き下げにより、利用の増大をはかると同時に、観光シーズンにおけ
る一般国道127号の慢性的な渋滞の解消をはかること。
- 5 一般国道127号の渋滞解消と地域の活性化を推進するため、一般国道127号鋸南町元名地先から主要地方道鴨川保田線及び富
津館山道路保田インターにアクセスするバイパスについて早急に検討を行い、早期に事業化をはかること。
- 6 国道交差点の観光ゾーン中の慢性的な交通渋滞を解消するため、右折車線の整備促進を図ること。

○現状

本町の広域幹線道路は、南北を縦断する一般国道127号と、それにほぼ平行している富津館山道路の2路線があります。一般国道127号は地域の中核都市である木更津市、君津市、富津市を経由し館山市を結ぶ産業、経済、文化の発展を大きく担っており、自動車交通の依存度が高く地域の発展に果たす役割は重要な道路です。国道127号は房総半島の急峻な地形の海岸線に沿った道路であることから、富津市と鋸南町の市町境を通っている明鐘隧道・潮噴隧道・元名第一・第二隧道の2km区間にかけては、連続降雨量200mmを超えると地形的条件により、通行の安全確保のため、通行止めとなります。隧道が狭小で屈曲なこと、大型バス等のすれ違いにも大変支障を来たしています。また道路部は、狭隘で屈曲部が多く、家屋等の建物は道路に接近して建っていることから、危険な交差点及び歩道の未整備区間がかなりあります。橋梁では、幅員が狭いことから、大型車の通行時には歩行者が欄干に、寄り添うように橋を渡っており、全体的に利用者の安全が確保されていない道路状況であります。

○課題

当町は、館山自動車道の全線開通により、東京湾アクアラインを利用して、90分圏内に位置しています。有料道路の利用により時間の短縮はされ便利になったことにより、首都圏からの日帰の観光客も多くなり、それに伴い一般国道への車の流入も多くなり、慢性的な交通渋滞を招き、観光により地域の活性化を図る上では、早急な道路整備が必要であります。

特に、一般国道127号では、鋸南町と富津市の市町境を通っている明鐘隧道・潮噴隧道・元名第一・第二隧道にかけての2km区間は隧道が狭小で曲がりくねっていることから、観光ゾーンになると他県からの車も多く訪れることにより、慣れない道路から事故も発生しており、特に観光バス等の大型車両でのすれ違いに苦慮しています。また、富津館山道路と繋がる幹線道路の交差点では、右折車線が整備されていないため、慢性的な渋滞を引き起こし、観光地としての印象の低下を招くばかりか、地域住民の生活に支障を来たしております。国道に架かる橋梁では、幅員が狭いことから、学童の通学時には欄干に寄り添うように歩行者が橋を渡り、大変危険な状態であり、歩行者の安全を確保するためにも、道路整備は喫緊な問題であります。

②-2 地域の目指すべき将来像

千葉県鋸南町

高速道路網の整備に伴い都心からのアクセスが容易になったことで、四季を通して鋸南町に訪れる観光客も多くなり、早春の日本水仙を中心とした花観光では、特色を生かした観光拠点づくりにより、交流人口の増加をはかり賑わいと活力あるまちづくりの取り組みを推進する。

また、南房総全体では、国土交通省が進める「地域観光圏」に安房4市町で策定をした事業が認定され、南房総地域の多様で豊かな自然環境を活かした観光の誘客、農水産業等の地場産業の発展をはかるため、「里海・里山の魅力を活かし、観光客と地域の人々の間に生まれる”家族のような交流”を巡りながら滞在する旅の創出」を目標に掲げて、南房総地域全体の取り組みにより、現在の交流人口214万人から5年後には280万人の交流人口を目指しています。このことから、国、県が行う幹線道路網の整備は、南房総地域に与える影響は大きく、重要な役割を担っておりま

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式 ④
千葉県鋸南町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域活力の向上 水害等の災害に強い国土づくり	館山自動車道の全線開通により首都圏から南房総地域への利便性の向上となった。 一般国道127号の連続降雨量200mm以上による通行規制区間の災害防止をはかる道路整備を促進する。	首都圏からの日帰り観光客の増及び農水産物の市場への運搬時間の短縮により鮮度の保持、価格の安定が図られる。 地域の中核都市を結ぶ国道の通行規制解消及び安全確保の道路整備により南房総地域の観光、産業、経済、のより一層の発展が図られる。	○その他